

宮城県で本格的な 国際交流大会を初開催

2019第1回東亜チャレンジカップ パークゴルフ国際交流大会in東松島

開催日:6月1日 会場:宮城県東松島市 矢本海浜緑地パークゴルフ場



スタートホールで豪快にクラブを振り抜く渥美巖市長



大会実行委員及び来賓の皆様

中央に第1回目優勝の栄冠を手にした斉藤四郎さん、左に準優勝の高橋久良保さん、右に3位の千葉芳夫さん

中央に初代女王に輝いた佐藤あや子さん、左に準優勝の鹿山恵美子さん、右に3位の寺澤恭子さん



開会宣言をする東北パークゴルフ国際交流実行委員会の中村圭吾委員長(左)、挨拶する東松島市の渥美巖市長(中央)、日本パークゴルフ設計コンサルタント協会理事で、今大会に特別協賛している東亜道路工業(株)の中村浩常務執行役員 営業本部長

今年4月27日にグランドオープンした宮城県東松島市の矢本海浜緑地パークゴルフ場で6月1日、東北パークゴルフ国際交流実行委員会(中村圭吾委員長・公益社団法人日本パークゴルフ協会国際連盟設立準備委員会執行理事 他)が主催し、東亜道路工業株式会社が特別協賛する「2019第1回東亜チャレンジカップパークゴルフ国際交流大会in東松島」が盛大に開催された。

大会当日は心配された天気も回復し、関係者をひとまず安心させた。この大会には宮城県内のトッププレーヤーはもちろんのこと、東松島市の渥美巖市長をはじめ、韓国・大韓体育会大韓パークゴルフ協会の李金龍会長も競技に参加するなど、同国から約20名の他、中国や台湾、マレーシア等からもプレーヤーが出場、総勢200名をオーバーする大盛況となり、初開催にして本格的な国際交流大会となった。競技は3ホールストロークプレーで行われ、参加者は1打1打を真剣にプレーしていた。

競技の結果、男子の部では斉藤四郎さんが95という素晴らしいスコアで優勝を飾り、女子の部では佐藤あやさんがスコア100でホールアウトし、見事に初代女王に輝いた。尚、この大会の様子はNHKが取材を行い、夕方番組で放送された他、新聞各社なども取材に訪れ、今大会開催の関心の高さを伺わせた。

男子の部			女子の部		
順位	氏名	スコア	順位	氏名	スコア
優勝	斉藤 四郎	95	優勝	佐藤あや子	100
準優勝	高橋久良保	99	準優勝	鹿山恵美子	104
3位	千葉 芳夫	99	3位	寺澤 恭子	105
4位	曾根 政夫	99	4位	館内美和子	106
5位	菊地 良邦	99	5位	佐藤さえ子	106
6位	高橋 正作	100	6位	松下 泰	106
7位	田尻 清志	101	7位	星 みさ子	107
8位	佐藤 博一	102	8位	山口 洋子	107
9位	山谷 信治	102	9位	阿部とし子	107
10位	高橋 徳雄	102	10位	曾根 陽子	107

今年のパークゴルフは宮城県が熱い! 登米市高森パークゴルフ場がグランドオープン!

宮城県では、東松島市の矢本海浜緑地パークゴルフ場(54ホール)のオープンで賑わうなか、同県登米市でも「登米市高森パークゴルフ場」が6月1日にグランドオープンした。同コースは同市石越町のレジャー施設「チャチャワールドいしこし」に併設し、(公社)日本パークゴルフ協会公認の54ホールを有する本格的パークゴルフ場となっている。平坦なコースから高低差のある起伏に富んだコースなど、初心者から上級者までレベルに合わせて楽しめるように設計されている。オープン初日には、約370名の愛好者で埋め尽くされ大いに賑わっていた。同コースは通年営業を予定しており、今後は県外や国外からも多くの来場が見込まれている。



東北最大級の大型グリーンと白砂のバンカーが魅力のダイナミックなコース